



平成 22 年 1 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社サカタのタネ
代表者名 代表取締役社長 坂田 宏
(コード番号 1377 東証第 1 部)
問合せ先 執行役員経理部長 宇治田明史
(TEL. 045 - 945 - 8800)

営業外費用、特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 22 年 5 月期第 2 四半期決算において、下記のとおり営業外費用及び特別損失を計上いたしましたので、その概要をお知らせいたしますとともに最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年 7 月 15 日に公表した平成 22 年 5 月期第 2 四半期累計期間において従来予想との差異が発生し、あわせて通期業績予想（連結・個別）を修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 営業外費用の発生及びその内容

平成 22 年 5 月期第 2 四半期における外国為替相場の変動による為替差損は、連結 238 百万円、個別 304 百万円であります。

なお、平成 22 年 5 月期第 1 四半期（平成 21 年 6 月 1 日～平成 21 年 8 月 31 日）において計上した為替差損は、連結 43 百万円、個別 122 百万円であります。

2. 特別損失の発生及びその内容

平成 22 年 5 月期第 2 四半期における、当社が保有する投資有価証券のうち時価が著しく下落した銘柄に係る投資有価証券評価損は、連結 376 百万円、個別 370 百万円であります。

なお、平成 22 年 5 月期第 1 四半期（平成 21 年 6 月 1 日～平成 21 年 8 月 31 日）において特別損失に計上した投資有価証券評価損は、連結・個別ともにありません。

3. 平成22年5月期連結業績予想数値の修正等

(1) 第2四半期累計期間(平成21年6月1日～平成21年11月30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益 (円)
前回発表予想(A)	22,500	500	750	500	10.17
今回実績(B)	21,749	701	796	546	11.89
差異額(B-A)	△750	201	46	46	
差異率(%)	△3.3	40.3	6.1	9.2	
前期第2四半期実績 (平成21年5月期第2四半期)	22,344	968	113	△1,274	△25.75

(2) 通期(平成21年6月1日～平成22年5月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A)	48,500	1,300	1,650	1,100	22.36
今回修正予想(B)	46,500	950	1,100	450	9.80
増減額(B-A)	△2,000	△350	△550	△650	
増減率(%)	△4.1	△26.9	△33.3	△59.1	
前期実績(平成21年5月期)	45,355	1,186	675	△1,709	△34.75

4. 平成22年5月期個別業績予想数値の修正等

(1) 第2四半期累計期間(平成21年6月1日～平成21年11月30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益 (円)
前回発表予想(A)	15,300	100	500	350	7.12
今回実績(B)	15,140	531	669	473	10.32
差異額(B-A)	△159	431	169	123	
差異率(%)	△1.0	431.8	33.9	35.4	
前期第2四半期実績 (平成21年5月期第2四半期)	15,277	357	△178	△1,257	△25.42

(2) 通期 (平成 21 年 6 月 1 日～平成 22 年 5 月 31 日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	33,000	200	800	500	10.17
今回修正予想 (B)	33,000	400	800	500	10.89
増減額 (B-A)	0	200	0	0	
増減率 (%)	0.0	100.0	0.0	0.0	
前期実績 (平成 21 年 5 月期)	32,409	406	272	△1,802	△36.64

5. 修正の理由

- (1) 当平成 22 年 5 月期第 2 四半期決算においては、内外の景気低迷の影響を受けて、花種子売上が落ち込んだものの、野菜種子については、トマト、ニンジン等の戦略商品を中心に順調に売上げが伸び、連結・個別とも減収ながら営業利益が増益となりました。一方、為替差損、投資有価証券評価損がいずれも前年同期比減少したため、経常利益、当期純利益とも、前期比増益となりました。この結果、第 2 四半期累計期間業績について、上記のとおり、前回発表を修正いたしました。
- (2) 主要国の景気回復が遅れており、花種子販売の回復にはまだ時間を要するものと懸念されます。また、円高進行により円換算ベースでの売上高の目減りも想定されることから、通期の業績予想 (連結・個別) につきましても、上記のとおり修正いたします。
- (3) なお、平成 22 年 5 月期期末の配当予想に変更はございません。

(注) 上記業績予想は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以上